

奈良県の地震

【奈良県の地震活動図】

震央分布図と断面図

【奈良県地震概況】

【奈良県で震度 1 以上を観測した地震の一覧】

【奈良県で震度 1 以上を観測した地震の震度分布図】

【地震一口メモ】

津波避難について

「奈良県の地震」は、奈良地方気象台における地震調査の一環として県内の地震活動状況を的確に把握し、きめ細かい防災対策に資するため1989年1月より月1回発行しています。「奈良県の地震」は、上記の項目で構成し、適宜地震解説資料や用語解説等を掲載します。

※本資料は、国立研究開発法人防災科学技術研究所、北海道大学、弘前大学、東北大学、東京大学、名古屋大学、京都大学、高知大学、九州大学、鹿児島大学、国立研究開発法人産業技術総合研究所、国土地理院、国立研究開発法人海洋研究開発機構、青森県、東京都、静岡県、神奈川県温泉地学研究所及び気象庁のデータを用いて作成しています。また、2016年熊本地震合同観測グループのオンライン臨時観測点（河原、熊野座）、米国大学間地震学研究連合（IRIS）の観測点（台北、玉峰、寧安橋、玉里、台東）のデータを用いて作成しています。

※震度データは、気象庁の震度計の観測データに併せて地方公共団体、及び国立研究開発法人防災科学技術研究所から提供されたものを掲載しています。

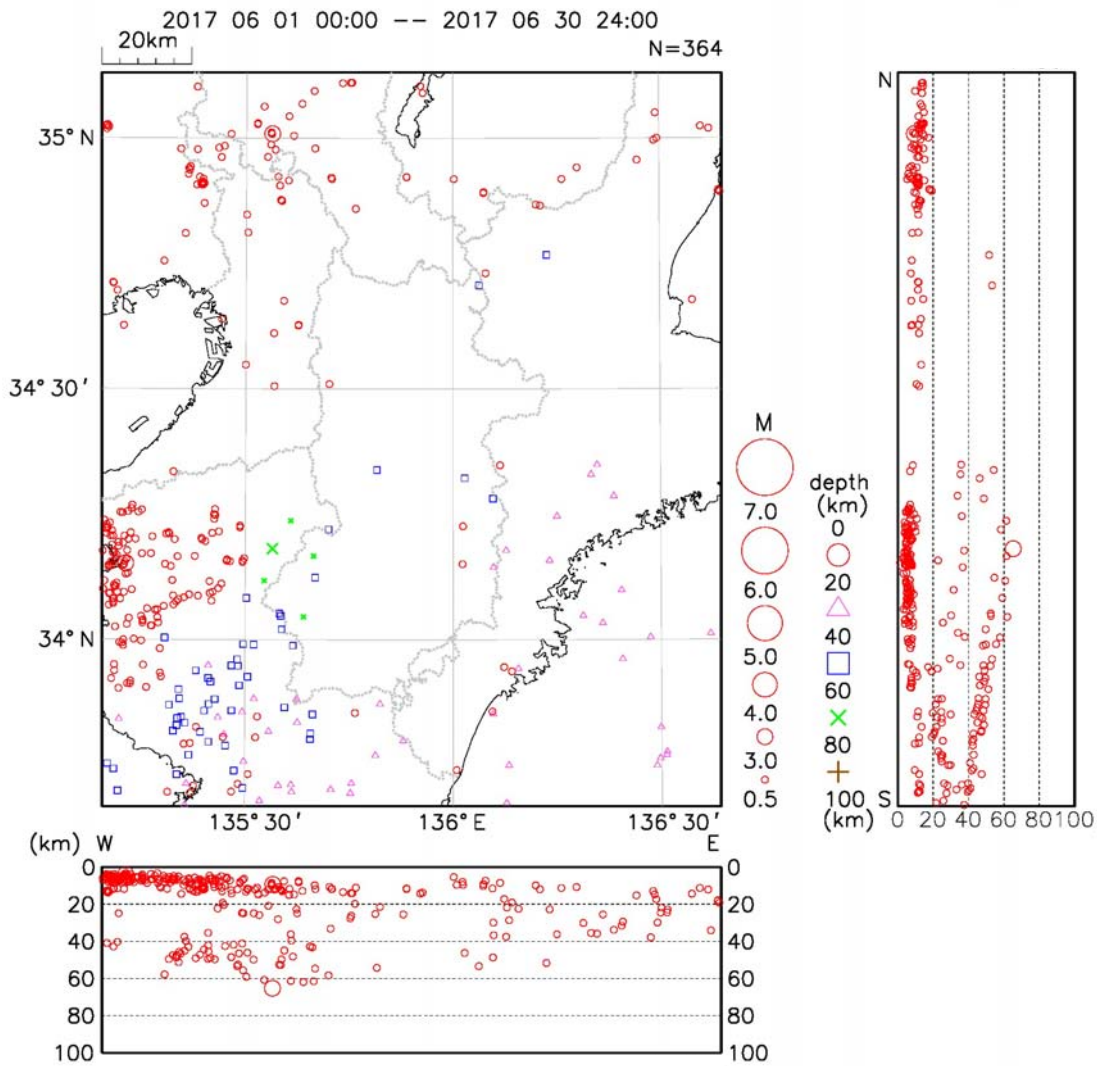
※この資料の震源要素及び震度データは、再調査されたあと修正されることがあります。

奈良地方気象台
2017年6月

【奈良県の地震活動図】

震央分布図と断面図

地図範囲内に分布している震央の南北方向の断面図(右上)と、東西方向の断面図(左下)で、地震の垂直分布を表しています。これにより、マグニチュード(M)の大きさと深さによる地震発生状況が把握しやすくなります。



【奈良県地震概況】

25日07時02分 長野県南部の地震（深さ7km、M5.6：活動図範囲外）により、奈良県では奈良県北部のほぼ全市町村と曾爾村・御杖村・天川村で震度1を観測しました。また、長野県王滝村・木曾町で震度5強を観測したほか、関東・東海・甲信越・北陸・近畿・中国・四国地方にかけて震度5弱～1を観測しました。

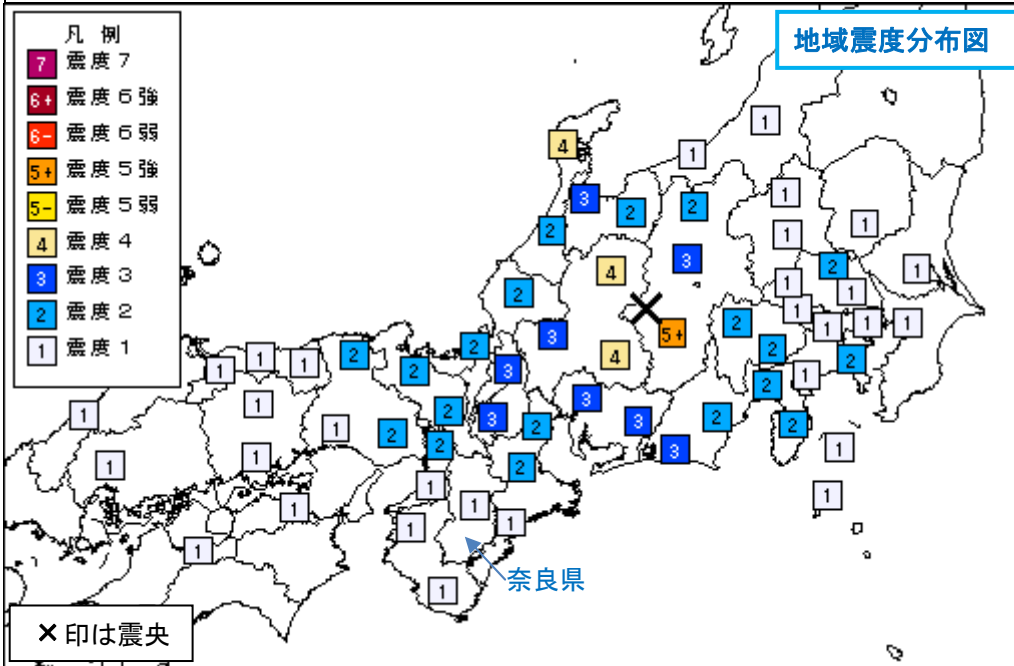
【奈良県で震度1以上を観測した地震の一覧】

震源時(年月日時分)	震央地名	北緯	東経	深さ(km)	M
2017年06月25日07時02分	長野県南部	35° 52.0' N	137° 35.1' E	7km	M5.6
奈良県 震度 1：奈良市西紀寺町, 奈良市月ヶ瀬尾山*, 奈良市二条大路南* 大和高田市野口*, 大和高田市大中*, 大和郡山市北郡山町* 天理市川原城町*, 橿原市八木町*, 桜井市初瀬, 桜井市粟殿* 五條市本町*, 御所市役所*, 生駒市東新町*, 香芝市本町* 山添村大西*, 平群町吉新*, 三郷町勢野西*, 斑鳩町法隆寺西* 安堵町東安堵*, 奈良川西町結崎*, 三宅町伴堂*, 田原本町役場* 曾爾村今井*, 御杖村菅野*, 高取町観覚寺*, 上牧町上牧* 王寺町王寺*, 広陵町南郷*, 河合町池部*, 大淀町桧垣本, 天川村洞川 葛城市柿本*, 葛城市長尾*, 宇陀市榛原下井足*, 宇陀市室生大野* 宇陀市大宇陀迫間*					

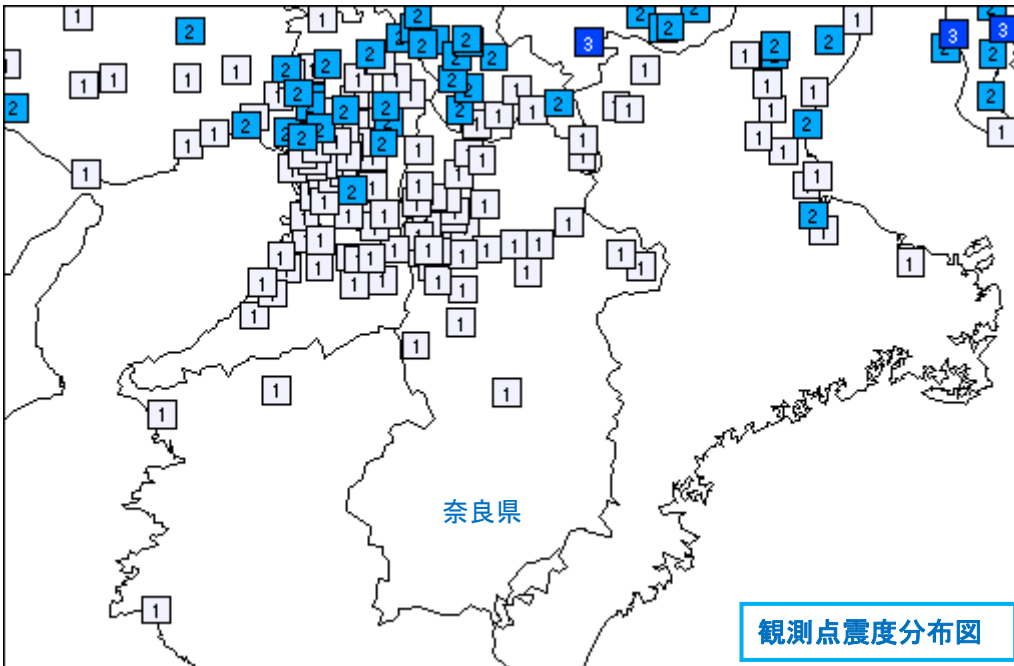
*印は地方公共団体等の震度観測点です。

【奈良県で震度1以上を観測した地震の震度分布図】

2017年06月25日07時02分 長野県南部 35° 52.0' N 137° 35.1' E 7km M5.6



奈良県付近を拡大



【地震一口メモ】

～津波避難について～

7月に入り近隣府県の海水浴場では海開きが行われ、夏休み期間は海でのレジャーや、買い物などでも臨海部へ行くことが多くなる時期でもあります。今回は注意喚起の意味も含め津波から命を守る行動について紹介します。

■津波から逃げる

津波はとても速い速度で襲ってきますので、海の近くにいた場合は以下のことに留意して直ちに「より高いところ」を目指して逃げましょう。

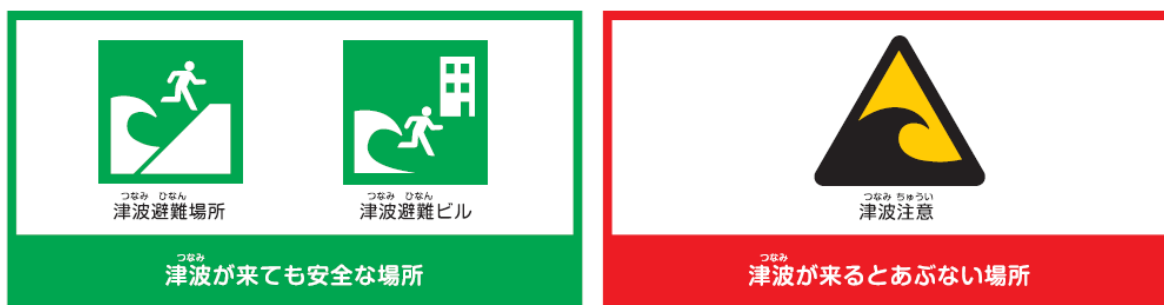
- ・強い揺れ、長い時間続く揺れを感じたとき
- ・揺れを感じなくても大津波警報・津波警報を見聞きしたとき

気象庁は津波による災害が予想される場合、地震発生後約3分で大津波警報・津波警報・津波注意報を発表します。津波は繰り返し襲ってきますので、避難後は最新の情報を確認して、津波警報が解除されるまで避難を継続しましょう。また、津波注意報が発表された場合には海から離れるようにしましょう。

■津波に備える

□津波の標識

津波による浸水の恐れがあるところには、津波避難場所などがわかる標識を設置していますので確認するようにしましょう。



□津波ハザードマップ

津波被害や津波による浸水の恐れがある自治体では、津波浸水想定や津波避難場所を示した図（津波ハザードマップ）を作成していますので、これらの地域に行かれる時は、事前にインターネット等で確認することをおすすめします。この他、ホテルやショッピングセンター、遊興施設などの事業所では津波避難計画を策定している場合があります。

また、大阪湾沿岸地域などの臨海地域に通勤・通学されている方は、自治体の広報紙でも避難場所・避難所を確認し、避難訓練や帰宅訓練への参加に努めましょう。